

介護老人保健施設「芙蓉の丘」 について紹介します



「芙蓉の丘」は、共立蒲原総合病院併設の介護老人保健施設です。日常生活において支援や介護が必要な方々に対して、生活指導、リハビリテーション、入浴、食事等を提供しています。そして、生活機能の維持改善による自立支援や、心身の機能低下、転倒等による介護度の重度化予防を目標としたサービスを行っています。

新年会

1月に新年会を開催し、海鮮丼に舌鼓を打つなど、利用者様の顔には喜びと満足が広がりました。心地よいひとときを共有し、新たな年の始まりを幸せな気持ちで迎えました。

今後も、季節感を味わっていただくため様々な行事を企画し、利用者様の生活をより充実させていくことを目指しています。



電子カルテシステム更新のお知らせ

当院では、医療の質向上及びサービス向上を目的に、令和6年8月半ばに「電子カルテシステム」の更新を予定しています。電子カルテシステムのトラブルを防ぐため万全の体制を整えて行いますが、更新当初は受付や診察、会計などでお時間を要することも想定されます。皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



病棟への面会についてのお願い

当院では、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて面会を制限させていただいております。感染症発生状況等により急きょ変更となる場合がございますので、詳しくは当院ホームページをご覧ください。お問い合わせ 0545-81-2211 (代表)

お問い合わせ 0545-81-2211 (代表)

スタッフ(会計年度任用職員)募集



当院では、以下の職種について随時募集しております。

- 看護師 (フルタイム・パートタイム)
- 看護助手 (フルタイム・パートタイム)
- 介護職員 (フルタイム)
- 介護福祉士 (フルタイム・パートタイム)
- 臨床検査技師 (フルタイム)

勤務日・勤務時間等については相談可能です。詳しくは病院ホームページをご確認ください。

お問い合わせ ☎ 0545-81-2211 (病院代表)
内線 12 総務課 総務担当 石川



共立蒲原総合病院

〒421-3306 静岡県富士市中之郷2500番地の1
TEL: 0545-81-2211 FAX: 0545-81-2208
ホームページ: <https://www.kanbarahp.com>



蒲原病院だより

共立蒲原総合病院 広報誌

回覧

令和6年4月

春号

新院長就任のご挨拶



院長 宮本 康裕 Miyamoto Yasuhiro

- 診療科: 耳鼻いんこう科
- 出身大学: 聖マリアンナ医科大学
- 卒業年: 平成8年(1996年)
所属学会・資格: 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会認定 専門医・指導医、日本鼻科学会、日本耳科学会、耳鼻咽喉科臨床学会、日本めまい平衡医学会など
- 専門分野: アレルギー性鼻炎の治療、内視鏡手術を中心とした副鼻腔治療

令和6年4月1日付で院長に就任しました。私は和歌山県和歌山市で生まれ育ち、大学より神奈川県で耳鼻咽喉科医として主に大学病院で働いてきました。静岡県とは何のゆかりもありませんでしたが、当院には非常勤医として約20年間勤務してきたこともあり、前院長の西ヶ谷先生と一緒に働かないかとお声がけいただき、令和4年4月に赴任し現在に至っております。

当院は、急性期病床、地域包括ケア病床、慢性期病床を有するケアミックス型病院です。今後ますます増加が予想される高齢者に対応可能な機能を有する病院であると考えます。しかしながら、地域の住民の皆様のニーズを満たすためには、まだまだ医師の数が不足しております。私の責務としては、医師の拡充、医療従事者の確保、診療科の充実であると考えます。より安心・安全な医療を提供する体制を築いていきたいと思っております。何かあればとりあえず蒲原病院に行けば大丈夫と思っていただける病院にしていくために、全力を尽くす所存であります。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。

共立蒲原総合病院 理念・方針

- 理念**
1. 地域中核病院として、地域住民のニーズに対応した適正な医療を提供する。
 2. 患者中心の全人的医療を提供する。
 3. 健全な収支の確立に努める。
 4. 職員が働き甲斐・誇りをもてる職場を構築し、医療水準の向上に努める。
- 方針**
1. 病院中期経営計画の目標を達成する。
 2. チーム医療を促進する。
 3. 経営資源を適切に活用する。
 4. 倫理観を持って行動する。

新型コロナウイルス後遺症で困っていませんか？

～コロナ後遺症における耳鼻いんこう科の役割について～

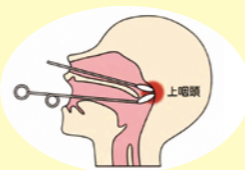
感染後数週間以上経過し、感染症状が落ち着いても、倦怠感、易疲労感、抑うつ、頭痛、ブレインフォグ（頭に霧がかかったような状態になり、思考力や集中力が低下してボーっとしてしまうなどの症状）、めまい、嗅覚味覚障害などの様々な症状が続き、後遺症に悩まれる患者様が多く存在します。



これまでコロナウイルス後遺症外来を総合診療科の土田医師が行ってきましたが、先生の異動に伴い令和6年3月で閉鎖となりました。しかし、これまでも当科と一緒にやってきた治療は引き続き行わせていただきます。

● 上咽頭擦過療法

塩化亜鉛溶液を染みこませた綿棒を用いて、鼻・口から上咽頭（口蓋垂の裏側）をこすって刺激する治療法です。この治療法が効く仕組みはまだ明確になっていませんが、他の内服治療などと併せて行うことにより、倦怠感や疲労感などの症状改善効果が報告されています。



● 嗅覚トレーニング

● 亜鉛補充療法

● 漢方治療

これらの治療は今後も耳鼻いんこう科外来で継続していきますので、コロナ後遺症でお悩みの時は是非ご相談ください。

おしえて！ 認定看護師さん

～健康寿命に関する「サルコペニア」について～



Q 「サルコペニア」とは？

A 加齢や疾患のほか、運動不足、低栄養などが原因で、筋肉の量が減り全身の筋力や身体機能の低下が起こった状態です。
サルコペニアになりやすいタイプは、「痩せ型で少食、特に肉や魚をあまり食べない」「お腹は出ているが筋肉はなく足が細い」「食事制限はしているが運動をしていない」方などです。

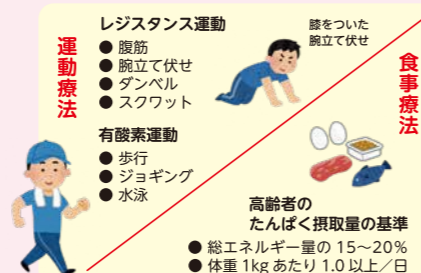
Q 「サルコペニア」をセルフチェックする方法は？

A 「指輪っかテスト」というものがあります。
ご自身の足で試してみましょう。
ふくらはぎの一番太いところで行ってください。



Q 「サルコペニア」の予防法は？

A サルコペニアを改善するためには、生活習慣を見直し、効果的な栄養補給（バランスの取れた食事）と運動をすることが有効です。
レジスタンス運動は、無理をすると続かないものです。無理せずできる範囲で行ないましょう。
有酸素運動は、友達とおしゃべりできるようなニコニコペースから始めてみましょう。
おしゃべりしながら楽しく健康になっていきたいですね。



お問い合わせ 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 稲葉 TEL:0545-81-2211 (病院代表)

令和6年能登半島地震に伴う災害支援活動について



本年1月1日に発生した令和6年能登半島地震において、石川県からの要請を受けた各関係団体からの出動要請があり、当院からも合計8名（看護師：6名、薬剤師：1名、理学療法士：1名）を被災地に派遣し、被災地域の人々の支援に取り組んでまいりました。



災害支援ナース

1月21日から2月8日まで、輪島市の一次避難所と金沢市の1.5次避難所で、計6名の看護師がそれぞれ4日間の日程で活動を行ってきました。

現地には、コロナ、インフルエンザ、ノロウイルスなどの感染症患者や、体調不良や不安を訴える方も多くいました。そのたびに話を聞き、体調確認を行い、生活環境の改善や感染対策を行いました。しかし、水が確保されておらず、またプライバシー確保が難しい避難所で生活を送られている方々に対して、完全な感染対策を実施することは難しい現場でもありました。地域の特徴を考慮し、感染予防について話すことや、水分摂取を促すことなど、コミュニケーションの技術や観察力が必要不可欠であると感じました。

現地では多くの支援チームが活動を行っており、初めて会うスタッフとチームを組んで活動することで、情報共有や自分の考えを発信することの重要性を再確認させられました。また、日々変化する避難所の環境やニーズに柔軟に対応できる実践能力や適応能力の大切さを学びました。

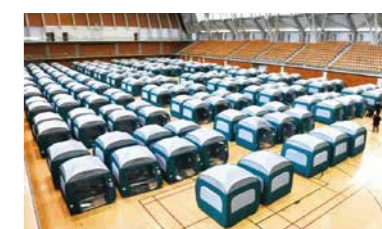
災害ボランティア薬剤師

日本病院薬剤師会の災害ボランティア薬剤師として、1月22日から1月26日まで、石川県金沢市内の浅ノ川総合病院に派遣されました。被災地からの患者の受け入れに関わる後方支援活動として、調剤業務などの任務を遂行しました。



災害リハビリテーション専門派遣

2月12日から15日の期間で静岡JRAT（災害リハ支援団体）の一員として、七尾市及び志賀町の避難所等で要支援者を対象とした身体機能の評価と、段ボールハウス等の住環境の評価、改善を目的に活動してきました。



当院の災害発生時の役割について



当院は、富士市・静岡市・富士宮市の3市から災害時の救護病院に指定されています。災害発生時には各市の災害対策本部と連携し、地域の医療救護活動を行います。

また、昨年3月に病院近隣の旧富士川町、小池地区と降雨による災害が発生した場合又は発生する恐れがある場合に避難が必要となった周辺住民の皆様に対し、当院併設の介護老人保健施設 芙蓉の丘を一時避難場所として使用する協定を富士市と締結しています。

防災訓練などを通して災害時に適切な対応ができるよう努めていきます。



【防災訓練（蒲原・由比地区より傷病者受け入れ訓練）】